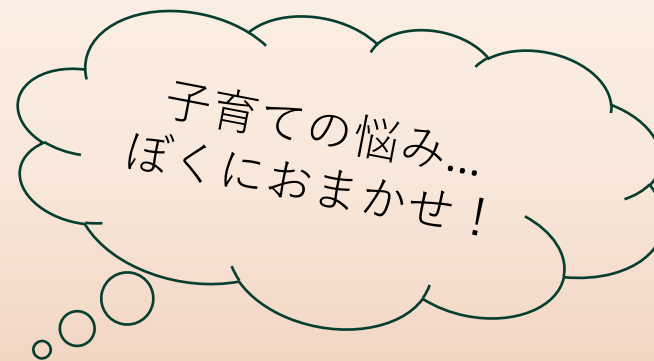


こども家庭支援センター& 児童相談所準備室のお仕事

(一般事務(社会福祉士)&一般事務(心理士))



組織体制

※R6.4.1時点

こども家庭支援センター

所長（事務）	1名
係長（事務）	1名
係長（保健師）	1名
事務	4名
保健師	4名
社会福祉士	5名
心理士	2名

児童相談所準備室

室長（事務）	1名
係長（事務）	1名
事務	2名
<県・他都市へ派遣中>	
事務	1名
社会福祉士	3名
心理士	1名

主な業務① 相談受付・通告対応

概要

児童虐待通告対応、相談・支援（ケースワーク）

やること

- 社会福祉士は主に子どもや子育てに不安や悩みを抱える方の相談対応から要支援児童・要保護児童等への支援・対応などを行う。
- 関係機関と情報交換を行いながら、必要な調査や支援を行う。
- 心理士は相談者の支援ニーズに合わせて児童面接や保護者面接、心理検査などを実施し、専門的視点からアセスメントや支援等を行う。

担当者談

子育て相談から児童虐待に関する相談まで、子どもに関する幅広い相談に対応することができるのは市の心理士の強みだと思います。

市独自の児童相談所設置に向けて、専門職としての専門性を高めていきたいと考えています。



主な業務② 関係機関との連携

概要

学校・医療・福祉関係者等との連携

やること

- ・子どもの権利を守るため、学校や保育所、医療機関、保健センター等と連携を図り、問題解決に向けて多機関で協働しながら支援を行う。

担当者談

対応が難しく、ケースワークに迷う場面も多いですが、職場の上司や先輩方に相談し、手厚いサポートや助言がもらえるので、安心して働くことのできる職場です。



職員からひとこと！



大変なこともありますが、職員同士、支えあう風通しのいい職場です。採用試験へのご応募お待ちしております！

児童相談所準備室では、児童相談所の設置に向けて、他都市の児童相談所へ職員を派遣し、人材育成を行っています。

